

地区別市政懇談会 当日質疑応答用紙一覧 上地区

地区別に事前にあげられたテーマについて

	質問事項	回答	担当課
1	<p>上地区の活性化対策として、建設可能な土地のPRの不足を感じています。もっと情報の共有化を図るべきではないでしょうか。</p> <p>また、活性化計画をどのように、現実のものになるよう進めていくのでしょうか。説明をお願いします。</p>	<p>上地区活性化計画は、総合計画のリーディングプロジェクトの一つとして、平成27年度までを計画期間として位置づけているものです。主に5つの分野から、各施策を地域の皆さんと横断的、総合的に取り組み、地域の活性化を図るものです。</p> <p>5つの分野は、「自然や里地環境と調和した住環境づくり」「地域の産業や資源を生かした交流の促進」「荒廃農地の活用と農業を生業とした営みの拡大」「教育環境の整備と里山体験の推進」「文化が息づく地域コミュニティの活性化」となり、それぞれの分野で様々な施策を実施、またはこれから取り組むことになります。</p> <p>また、この5つの分野からの各施策の推進を、中・長期的に支える取り組みとして、「上地区を対象とした開発許可制度を支える取り組み」「新東名高速道路の整備を生かした地域活性化」の2点があります。</p> <p>1点目の部分についてのPRですが、平成25年1月には新聞、タウン紙にも取り上げられ、2月には事業者説明会も開催しました。広報はただの特集を組みPRをしたところですが、残念ながらまだ、この制度を利用した方がいらっしゃいませんので、更なるPRは必要であると考えます。今後は市のホームページをさらに充実させ、利用可能な土地の情報の把握、あるいは発信など、転入者を導く仕組みづくりを、上地区の皆さんと話し合いながらできることから取り組んでまいりたいと考えます。</p>	企画課

2	<p>上地区活性化対策として、空き家に農の担い手を誘致する等の施策は具体的に進んでいますか。</p>	<p>現在、多様な農の担い手づくりということで、平成18年度から、秦野市農業塾を開設しています。現在42名の方が市内で9.1ヘクタールの遊休農地を活用して営農しています。</p> <p>新規就農者への具体的な支援として、栽培技術の向上を目指した研修会の開催、今年度は、新たな新規就農者の効率的安定的な農業経営を支援するために、耕運や堆肥等に係る経費の一部を助成する制度の創設をおこなっています。</p> <p>新規就農者が抱える課題として、一般的なアパート等の住宅では農機具の保管場所や出荷作業の場所の確保、苗の育苗ハウス等の確保が困難であるということです。このことから、新規就農者、特に市民農業塾を修了した方に対し、営農状況や住居等を含めた営業上の課題について意向調査を行っています。今後その結果等を踏まえ、新規就農者の定住を含め空き家の利用等を検討していきたいと考えます。</p> <p>(補足)</p> <p>現在、上地区には数件の空き家があるものの、賃借可能な物件はない状況にあります。今後は地元自治会との連携により賃借可能な空き家住宅の情報収集に努めていきたいと考えます。</p>	農産課
3	<p>上地区の豊かな自然をアピールしていくためにも、市として環境保全施策をどのように考えていますか。</p> <p>また、緑の募金も赤い羽根に比べ認知がされていないような気がします。</p>	<p>本市では、平成23年度に「秦野市環境基本計画『第2次計画』」を策定し、里地里山に代表される豊かな緑、秦野盆地の湧水群といった秦野らしさのある環境をいかし、魅力あるまちづくりを目指していきたいと考えています。</p> <p>その環境施策の一つとして、希少・貴重な生き物が生息している市内の谷戸田や湧水地を「生き物の里」として6箇所指定しています。1箇所目が上地区の柳川になります。地元の自治会の皆様に運営を担っていただいていることに感謝申し上げます。</p> <p>また、上地区には生き物の里の他にも四十八瀬川があります。一番安定した水量、水質の川となっています。里地里山を含め、このような豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、地域の皆様のご協力をいただきながら、連携して地域の特性を生かした活動を展開していきたいと考えます。</p> <p>緑の募金は神奈川トラストみどり財団が実施しており、集めた募金は地域の植樹活動や苗木の配布に活用されています。これまで市のイベント等でPRをしてきましたが、不足な面もあると思いますので、みどり財団と連携しながら周知、啓発に努めたいと考えます。</p>	環境保全課

当日の質疑応答について

	質問内容	当日の回答	補足、現在の状況・今後の対応等	
1	実際に新規就農者で、空き家を利用する世帯はありますか。	現在、はだの市民農業塾を修了した方を中心に意向調査中です。	「はだの市民農業塾」を修了した新規就農者の方に「農家住宅の空き家があれば、借りたいか」という意向の確認をしたところ、数名の方から借りたいという希望がありました。	農産課
2	上地区活性化計画を練る段階では、地元と行政の対話があり、協力関係にありましたが、一旦地域の手から離れ、市の計画となると、話し合いの場が無くなったように感じます。もっと意見交換が必要ではないでしょうか。	計画策定時には多大なご協力を頂きました。市で計画を検討するための作業期間があったため、対話機会が少なくなりましたが、今後、実際に事業を進める際には、対話を含め、ご協力をお願いします。	当日の回答に同じ。	企画課
3	条件付きで土地の活用できる制度について、まだ動きが無いということは何かしら、課題があるのではないのでしょうか。検証をして欲しいと思います。	制度への問い合わせは様々な関係から頂いており、全く動きが無いということではありません。しばらく様子を見守り、必要なときは、地域の方、業界の方の意見も参考に検討も行いたいと考えます。	平成25年度は4月から施行し行政機関や建設・不動産業界、土地所有者、移転希望者等、様々な分野から問い合わせが来ています。土地が動くには諸条件が一致しないと具体の動きは難しいと考えます。 まだ制度が動き出したばかりですので、しばらく様子を見守り、必要な際には基準等について検討したいと考えます。	開発指導課
4	上地区の教育現場では生徒数の減少が大きな課題であると考えています。生徒数増加のための施策をお願いします。	上地区の豊かな自然を生かした特色ある教育を打ち出していただければと考えます。活性化計画の中にもうたっているため、学校とも相談して、できることを打ち出していきたいと考えています。	当日の回答に同じ。	企画課 学校教育課

5	<p>上幼稚園に保育園を併設し、こども園とすることはできないでしょうか。少子化対策の一助になると思います。</p>	<p>検討の必要性はあると考えます。</p>	<p>幼児教育の在り方や、保育施設などの子育て環境整備について検討していきます。</p>	<p>教育総務課 保育課</p>
6	<p>田頭橋の架け替え工事が始まるということですが、仮設橋が架けられないとなると、完成予定の27年度3月まで、不便な状態が続くこととなります。何とか工期を早められないでしょうか。 また、仮設橋はやはり架けられないのでしょうか。</p>	<p>四十八瀬川の湯水期に工事をやる必要があるため、工期の変更は困難となっています。 また、仮設橋も、四十八瀬川の特徴から簡易なものでは安全が確保できないということで、地元の説明会では、工事中は迂回をお願いすることでご説明をさせていただいた経緯があります。</p>	<p>当日の回答に同じ。 (質問者の方には後日詳細について説明させていただきました。)</p>	<p>道路整備課</p>
7	<p>田頭橋を工事で閉鎖するということであれば、湯の沢の乗り合いタクシーを土日も運行して欲しいと思います。 運行本数も民間のバスの頃より減っているのではないのでしょうか。</p>	<p>平日の本数については、神奈交バスの頃に比べ遜色ない本数を運行しています。 土日運行については、三廻部線で平日に比べた利用者の減少率が少ないので、実証運行を開始しました。湯の沢方面は現在の実証運行の中では難しいですが、毎年見直しを行い、評価・検証することで、地域の協議会と話し合いをさせていただきたいと思っています。</p>	<p>当日の回答に同じ。</p>	<p>公共交通推進課</p>
8	<p>上公民館前の、市道18号と913号が合流するY字交差点において、913号を下ってくる車両がスピードを落とさず、18号に合流してくるため危険を感じます。現場は横断歩道が2つ連続する箇所であり、児童も通学時に利用するので、啓発看板等で安全対策を図ってもらいたいと思います。</p>	<p>交通安全担当の部署であるくらし安全課にお伝えします。</p>	<p>上小学校と協議し看板を設置する予定でしたが、地権者の同意が得られず、引き続き調整を行います。</p>	<p>くらし安全課</p>

9	カーブミラーが冬場に曇ってしまい見づらくなる箇所があります。対策は何かありますか。PTA等で対応をしましてよいでしょうか。	まず、ご指摘のようなミラーの確認をしたうえで、対応を検討します。 また、路上での作業は危険な事もありうるので、PTA等での対応については、調整をさせていただきたいと思いません。	カーブミラーの交換や清掃が必要な箇所について順次対応しています。	道路管理課
10	上地区には公園が少ないと感じます。公園を設置して欲しいと思います。	現段階では用地買収による公園の整備は難しいですが、用地買収によらない手法での用地確保が可能であれば検討していきたいと考えます。	当日の回答に同じ。	公園課
11	上地区に人口を呼び込むためには交通施策が必要ではないでしょうか。交通の便をよくすることを進めて欲しいと思います。	利用者全員が100%満足という路線は困難です。いくら本数を増やしても採算が合わなければ、皆さんに使っていただかなければ、成り立ちません。大切なことは持続可能であるということだと考えます。 ご意見としては非常に分かりますので、協議会の中で検証していきたいと考えます。	当日の回答に同じ。	公共交通推進課
12	懇談会に参加できない人の意見を吸い上げる手段も考えるべきではないでしょうか。	(要望)	電子メールや専用はがきで、随時受け付けています。広聴相談課へお問い合わせください。	広聴相談課
13	健康維持のため、抗加齢ドックの受診に助成をする制度を提案します。	(要望)	現在、特定健康診査を対象年齢に実施(39歳以下は希望者)して、健康増進を図っています。また国保加入者には人間ドックの補助がありますので、財政上からも新たな助成は困難と考えます。	健康づくり課

14	西地区の公民館と中学校体育館の複合施設には上地区の住民も使えるような、プールやトレーニング施設をお願いしたいと思います。	(要望)	要望として受け止めます。	教育総務課 生涯学習課
15	田頭橋では何とか歩行者だけでも渡れるような施策を考えて欲しいと思います。	(要望)	要望として受け止めます。	道路整備課
16	国道246号沿いの織戸組の採石場が閉鎖した後、何か有効利用はできないのでしょうか。	県からは、緑地に戻して返す、という条件で許可されています。そのため、形を変えた新たな利用は非常に困難です。	該当地については当初の許可条件（県の林地開発許可やみどりの協定）で必要な植林、緑地の確保が義務付けられており、現時点では新たな再利用は困難です。	開発指導課
17	成年後見制度について、市が主導となって後見人を育成するような施策が必要ではないでしょうか。	(要望)	老人福祉法及び障害者総合支援法では市町村は後見、保佐、及び補助の業務を適正に行うことができる人材の育成及び活用を図るための必要な措置を講ずることとされています。 成年後見制度の利用ニーズの増大や多様化に対応できるよう、今後、関係機関と連携しながら成年後見制度の利用支援の在り方を検討する中で、必要な人材の育成、確保に向けた取組みについても検討を進めていきます。	地域福祉課